



## British Embassy Tokyo

平素より英国との観光・教育交流にご関心をお寄せいただき、誠にありがとうございます。

このたび、英国の教育関係機関による貿易視察団の来日に伴い、下記のネットワーキングイベントにご招待させていただきたく、招待状をお送りいたします。

- **7月29日（火）大阪開催（会場：大阪・関西万博 英国パビリオン）**  
日英の教育関係者が一堂に会する教育関連イベントおよびレセプション
- **7月31日（木）東京開催（会場：都内）**  
英国教育機関とのネットワーキングイベント

参加する教育機関については添付のブローシャーをご覧ください。

ご参加を希望される方は、**7月24日までに各登録リンクよりお申込み**いただけますようお願いいたします。

教育旅行・留学・語学研修等を取り扱う関係事業者の皆さまにとって、有益な情報交換とネットワーキングの機会になるかと存じます。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

※本イベントは英国政府およびブリティッシュ・カウンシルの共催イベントです

7月29日（火）大阪イベントに関するお問い合わせ先：  
[events@ukatexpo2025.uk](mailto:events@ukatexpo2025.uk)

7月31日（木）東京イベントに関するお問い合わせ先：  
駐日英国大使館 ビジネス・通商部 古閑澄子  
[Sumiko.Koga@fcdo.gov.uk](mailto:Sumiko.Koga@fcdo.gov.uk)



## エデュケーション・デー

英国と日本の教育関係者が一堂に会し、教育分野に関するさまざまなイベントが行われます。世界的に評価の高い英国のインディペンデント・スクール（私立学校）、大学、英語教育機関をはじめ、英国政府の教育専門家やブリティッシュ・カウンシルの関係者など、幅広い団体・ゲストが参加予定です。（事前予約制）

日付：2025年7月29日（火）

会場：大阪市此花区夢洲中 2025年大阪・関西万博会場内

英国パビリオン3階 IHG ホテル & リゾート ホスピタリティ スイート

当日は3つのイベントが開催されます。ご希望のイベントの参加申込リンクよりご登録ください。複数のイベントにご参加希望の場合は、それぞれのリンクよりお申し込みください。

---

### イベント① ラウンドテーブルディスカッション

時間：9:30～12:00

英国教育省 スキル担当大臣 / 英国教育省 女性・平等担当大臣バロネス・スミス・オブ・マルバーンより、英国パビリオンで開催の教育に関するラウンドテーブルディスカッションにご招待いたします。

本ラウンドテーブルディスカッションには、世界的に有名な英国のインディペンデント・スクール（私立学校）、大学、英語研修機関で構成されます使節団、英国ビジネス・通商省、およびブリティッシュ・カウンシルの教育専門家が参加いたします。

議論のテーマは、生涯学習、生徒の安全確保／AI、起業家精神、主体的・体験的学習、持続可能性など多岐にわたり、両国間における将来的な政策面および実務レベルでの協力の可能性について探ってまいります。

当日はランチをご用意しております。

<参加申込リンク>

<https://www.events.great.gov.uk/ereg/newreg.php?eventid=200290891&>

---

イベント② ネットワーキングイベント

**時間: 13:45～16:00**

以下の英国教育機関とのネットワーキングイベントにご招待いたします。

- 投資家を含む日本の機関との提携を模索している世界的に有名な英国の大学
- 投資家やスクール運営者との連携を希望している英国のインディペンデント・スクール（私立学校）
- エージェント、企業、大学、学校との連携に関心を持つ英語学習者および英語教員向けの研修を提供する英語教育機関。

各機関のプロフィールは、添付のパンフレットに掲載されています。

<参加申込リンク>

<https://www.events.great.gov.uk/ereg/newreg.php?eventid=200290894&>

---

イベント③ レセプション

**時間: 18:00 ~ 19:30**

英国教育省 スキル担当大臣 / 英国教育省 女性・平等担当大臣バロネス・スミス・オブ・マルバーンより、英国と日本の教育分野におけるパートナーシップを祝うレセプションにご招待いたします。

<参加申込リンク>

<https://www.events.great.gov.uk/ereg/newreg.php?eventid=200290906&>

---

お申込みいただいた方には EXPO 会場、パビリオンへのアクセス情報等を後日ご連絡いたします。

お問い合わせ先: [events@ukatexpo2025.uk](mailto:events@ukatexpo2025.uk)



UK Government



# 日英 教育産業 ネットワーキングイベント

スピードネットワーキングイベント

日時：2025 年 7 月 31 日（木）09:20 – 12:00

会場：ヴァルカナイズ・ロンドン @ ザ・プレイハウス 3 階イベントフロア

(〒107-0062 [東京都港区南青山 5-8-5](#))

服装：クールビズ

12 時より昼食をご用意しています。

英国教育省 スキル担当大臣 / 英国教育省 女性・平等担当大臣

バロネス・スミス・オブ・マルバーンより

スピードネットワーキングイベントイベントにご招待します。

英国の国際的に著名な大学、インディペンデント・スクール（私立学校）、英語教育機関から成る英国の教育使節団とのネットワーク構築する絶好の機会です。

参加機関の詳細は、ブローシャーをご確認ください。

参加ご希望の場合は、こちらの[リンク](#)より 7 月 24 日までにご登録ください。

\*フォーム内の質問 19 で複数イベントが選択できますが、上記イベントにご参加ご希望の場合は、

下記の通り 'ONLY - Thursday 31 July 2025: UK-Japan Education Speed Networking' をご選択ください。

19. Please select the event(s) you would like to register your participation for. \*

- ☐ BOTH - Wednesday 30 July 2025: UK-Japan Education Mission Reception & Thursday 31 July 2025: UK-Japan Education Speed Networking
- ☐ ONLY - Wednesday 30 July 2025: UK-Japan Education Mission Reception
- ☒ ONLY - Thursday 31 July 2025: UK-Japan Education Speed Networking



**UK Government & British Council Led  
Education Mission  
UK Delegate Brochure**

**Osaka and Tokyo  
29 July - 31 July 2025**



英国政府およびブリティッシュカウンシルに  
よる教育関連ミッション  
英国における教育機関に関する情報

東京・大阪  
2025年7月29日—31日

# Table of Contents

<b>Foreword</b>	
The Rt Hon Baroness Smith of Malvern, UK Minister for Skills and Minister for Women and Equalities	3
<b>UK Higher Education Institutions</b>	
Louise Phyllis Blair - University of Essex	4
Prof Ksenia Chmutina – University of Loughborough	5
Dennis Wong – University of Newcastle	6
Ben Middleton - University of Sunderland	7
Ayako Towatari – University of Cambridge Press & Assessment	8
<b>UK Schools</b>	
Richard Houchin - Cheltenham Ladies' College	9
Tim Hipperson - Oundle School	10
Sean Davey - Reigate Grammar School International	11
Daniel Lewis - Repton Family of Schools	12
Abbie Watts -Wellington College International	14
<b>English Language Providers</b>	
Leigh McIntyre - Bayswater Education	15
Muhammad Tariq - Learning Resource Network	16
Ikuya Aizawa - Oxford EMI Ltd	17
<b>Officials</b>	
Richard Leach - Department for Business and Trade	18
Mike Qureshi - Department for Business and Trade	19
Husna Hashim - Department for Business and Trade Malaysia	20
Sumiko Koga - Department for Business and Trade Japan	21
Akie Koyama - British Council Japan	22
Bethan Dinning - Department for Education	23
<b>International Schools Sector Representative</b>	
Colin Bell – The Council of British International Schools (COBIS)	24

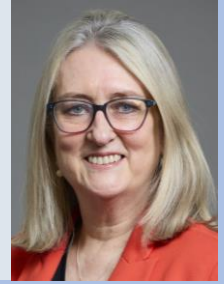
# Table of Contents

ご挨拶	
教育省閣外大臣(技能担当兼女性・平等担当)ジャッキー・スミス女男爵	3
英国高等教育機関	
ルーズ・フィリス・ブレア - エセックス大学	4
クセニア・フムティナ教授 - ラフバラ大学	5
デニス・ウォン - ニューカッスル大学	6
ベン・ミドルトン - サンダーランド大学	7
アヤコトワタリ - ケンブリッジ大学プレス & アセスメント	8
英国中等教育機関	
リチャード・ハウチン - チェルトナム・レディース・カレッジ	9
ティム・ヒップパーソン - オウンドル・スクール	10
ショーン・デイビー - レイゲート・グラマー・スクール・インターナショナル	11
ダニエル・ルイス - レプトン・ファミリー・オブ・スクールズ	12
アビー・ワッツ - ウェリントン・カレッジ・インターナショナル	14
語学学校	
リー・マッキンタイア - ベイズウォーター・エデュケーション	15
ムハンマド・タリク - ラーニング・リソース・ネットワーク	16
イクヤ・アイザワ - オックスフォードEMIリミテッド	17
政府関係者	
リチャード・リーチ - ビジネス・通商省	18
マイク・クレシ - ビジネス・通商省	19
フスナ・ハシム - ビジネス・通商省	20
古閑澄子 - ビジネス・通商省	21
アキエ・コヤマ - ブリティッシュカウンシルジャパン	22
ベサン・ディニング - 教育省	23
インターナショナルスクール部門代表	
コリン・ベル - 英国インターナショナルスクール協議会 (COBIS)	24



## FOREWORD

### **The Rt Hon Baroness Jacqui Smith of Malvern** UK Minister for Skills and Minister for Women and Equalities



#### **Foreword from The Rt Hon Baroness Smith of Malvern**

#### ***Minister for Skills and Minister for Women and Equalities***

The United Kingdom and Japan share a long-standing partnership grounded in mutual respect, innovation and cultural exchange. It is in this spirit that I am honoured to lead the UK's first government-led education mission to Japan, with visits to Tokyo and the 2025 World Expo in Osaka.

I am delighted to be joined by a delegation of world-class UK institutions made up of universities, independent schools, English Language Training providers and Education businesses. Together, the delegation represents the full education lifecycle, from early years to higher education and lifelong learning.

This mission is a practical expression of the UK's International Education Strategy, which aims to grow the UK's global education presence through stronger international partnerships, transnational education, increased education exports and enhanced student mobility.

The programme includes a range of activities and engagements designed to spark meaningful connections and foster long-term collaboration. However, this mission is not a one-off event. It marks the beginning of a deeper, two-way dialogue. One that aligns academic excellence with industry growth and national priorities.

I am particularly looking forward to hosting receptions at the UK Pavilion at the World Expo in Osaka and at the British Ambassador's Residence in Tokyo. These events will bring together a diverse mix of UK and Japanese education stakeholders and provide a valuable platform to celebrate the breadth of UK education engagement in Japan. This includes institutional partnerships

## FOREWORD

### **The Rt Hon Baroness Jacqui Smith of Malvern** UK Minister for Skills and Minister for Women and Equalities



, joint research, student mobility and people-to-people links, as well as the growing presence of British schools, UK qualifications and exams, English language provision and innovative education businesses. These connections reflect the dynamic and evolving nature of our education relationship and the strong interest in working together across sectors.

I would like to express my sincere thanks to the Government of Japan for their continued engagement. I am also grateful to the British Embassy in Japan, the Department for Business and Trade and the British Council for their support in organising this important mission.

**The Rt Hon Baroness Smith of Malvern**  
**Minister for Skills and Minister for Women and Equalities**

## ご挨拶

### 教育省閣外大臣（技能担当兼女性・平等担当） ジャッキー・スミス女男爵



#### モルヴァーンのスミス女男爵閣下

##### （英国技能大臣 兼 女性・平等担当大臣）からの序文

英国と日本は、相互尊重、革新、そして文化交流に根ざした長年のパートナーシップを築いています。このような精神のもと、私は英国政府が主導する初の日本への教育ミッションを率いて、東京と2025年大阪・関西万博を訪れることを光栄に思います。

大学、インディペンデント・スクール（私立学校）、英語教育機関、教育関連企業といった、英国を代表する世界水準の教育機関から成る代表団と共に来日できることを、大変嬉しく思います。この代表団は、幼児期から高等教育、生涯学習に至るまで、教育ライフサイクル全体を網羅しています。

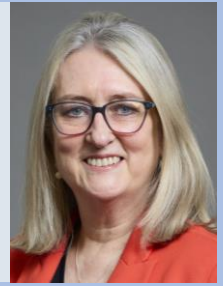
このミッションは、国際的なパートナーシップの強化、越境教育の推進、教育輸出の拡大、そして学生の国際的な交流の促進を通じて、英国の教育分野における国際的な存在感を高めることを目的とした英国の国際教育戦略の具体的な取り組みです。

このプログラムには、有意義なつながりを生み出し、長期的な協力関係を育むことを目的とした、さまざまな活動や交流の機会が含まれています。しかし、このミッションは一度限りのイベントではありません。これは、より深い双方向の対話の始まりを意味します。学術的卓越性と業界の成長、そしてと国家の優先課題とを結びつける対話でもあります。

私は、大阪・関西万博の英国パビリオンおよび東京の駐日英国大使公邸にてレセプションを主催することを、特に楽しみにしております。これらのイベントには英国と日本の多様な教育関係者が集まり、日本における英国の教育活動の幅広さを祝う貴重な場が提供されます。これには、機関間のパートナーシップ、共同研究、学生の交流や人的交流に加え、英国の学校、英国の資格や試験、英語教育、革新的な教育ビジネスの存在の拡大が含まれます。こうしたつながりは、私たちの教育関係が持つ活力と変化し続ける性質と、さまざまな分野で協力することへの強い関心を反映しています。

## ご挨拶

教育省閣外大臣（技能担当兼女性・平等担当）  
ジャッキー・スミス女男爵



日本政府の皆様には、継続的にご協力いただいていることに心より感謝申し上げます。また、この重要なミッションの実現に向けてご支援いただいた駐日英国大使館、英国商務貿易省、ブリティッシュ・カウンシルの皆様にも心より感謝申し上げます。

モルヴァーンのスミス女男爵閣下  
（英国技能大臣 兼 女性・平等担当大臣）

## Louise Phyllis Blair

University of Essex

Director of Partnerships

(Education and Research)

Office of the Vice-Chancellor

[Louise.Blair@essex.ac.uk](mailto:Louise.Blair@essex.ac.uk)



We're committed to two things: excellence in teaching and excellence in research. We put student success at the heart of our mission, supporting every student from every background to achieve outstanding outcomes; preparing our students to thrive in their future lives.

### Key academic areas of interest for partnerships in Japan

- Science and Health
- Life Sciences:
- Computer Science
- Artificial Intelligence
- Electronic Engineering
- Health and Social Care
- Sport and Exercise Science
- Rehabilitation Sciences
- Mathematics
- Statistics
- Actuarial Science
- Psychology
- Data Analytics
- Public Health
- Social Sciences
- Economics:
- Politics
- International Relations
- Academic Skills and Foundation Studies
- Language and Linguistics
- Sociology
- Criminology
- Business
- Law
- Psychosocial Studies
- Psychoanalytic Studies
- Social and Economic Research
- Data Archiving
- Arts and Humanities
- Philosophy:
- History
- Interdisciplinary Studies
- Literature
- Film
- Theatre
- Acting
- Hospitality and Hotel Management
- Art History
- Human Rights

Website: <https://www.essex.ac.uk/>

**ルイズ・フィリス・ブレア**  
エセックス大学  
パートナーシップ部門責任者  
(教育及び研究)  
副学長事務所

[Louise.Blair@essex.ac.uk](mailto:Louise.Blair@essex.ac.uk)



本学は、卓越した教育と卓越した研究という二つの目標に取り組んでいます。学生の成功が第一の使命です。あらゆるバックグラウンドのすべての学生が優れた成果を達成できるよう支援し、将来の人生を豊かに生きるためにお手伝いします。

### 日本とのパートナーシップの重要な学術分野

- 科学と健康
- 生命科学
- コンピュータサイエンス
- 人工知能
- 電子工学
- 医療および社会福祉
- スポーツと運動科学
- リハビリテーション科学
- 数学
- 統計学
- 保険数理学
- 心理学
- データ分析
- 公衆衛生
- 社会科学
- 経済学
- 政治学
- 国際関係論
- アカデミックスキルと基礎学問
- 言語学
- 社会学
- 犯罪学
- ビジネス
- 法学
- 心理社会学
- 精神分析学
- 社会経済研究
- データアーカイブ
- 芸術・人文科学
- 哲学
- 歴史学
- 学際研究
- 文学
- 映画学
- 演劇学
- 演技学
- ホスピタリティ・ホテル経営学
- 美術史
- 人権学

ウェブサイト: <https://www.essex.ac.uk/>

**Professor Ksenia Chmutina**

University of Loughborough  
Associate Pro-Vice Chancellor  
Impact and Internationalisation and  
Director of the Institute of Advanced Studies  
[k.chmutina@lboro.ac.uk](mailto:k.chmutina@lboro.ac.uk)



Loughborough University is a medium-size university in the East Midlands. It is consistently ranked among the top ten in the UK. It is renowned for its exceptional academic standards, state-of-the-art facilities, and a robust strategic emphasis on research and innovation. Its exceptional education and learning standards are evidenced by the Triple Gold TEF award. It's currently focusing on building its international reputation outside of sport (in which Loughborough is number one in the world according to QS).

**Key academic areas of interest for partnerships in Japan**

Design and the creative arts; business and management; sport and sport-related disciplines (e.g. sport technology); architecture and built environment; international development.

**Website:** <https://www.lboro.ac.uk/international/>



## クセニア・チュムティナ教授

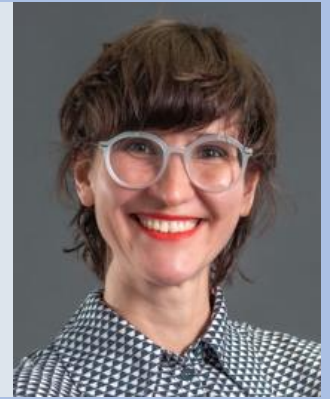
ラフバラ大学

副総長

影響と国際化と

高等研究所所長

[k.chmutina@lboro.ac.uk](mailto:k.chmutina@lboro.ac.uk)



ラフバラ大学はイースト・ミッドランズにある中規模の大学です。本学は英国で常にトップ10にランクされています。卓越した学術水準、最先端の設備、そして研究と革新に重点を置いた強力な戦略的取り組みに定評があります。また優れた教育と学習基準は、トリプルゴールドTEF賞によって証明されています。さらに、現在、スポーツ以外での国際的な名声を高めることに注力しています(QSでは、本学は世界の大学の中でトップに位置付けられています)。

### 日本とのパートナーシップで求めている主な学術分野

デザインおよびクリエイティブアート、ビジネスおよび経営、スポーツおよびスポーツ関連分野(例:スポーツテクノロジー)、建築および建築環境、国際開発。

Webサイト: <https://www.lboro.ac.uk/international/>



**Dennis Wong**

University of Newcastle

Regional Provost

and CEO South &amp; Southeast Asia

[dennis.wong@ncl.ac.uk](mailto:dennis.wong@ncl.ac.uk)

As a founding member of the Russell Group of research-intensive Universities, we've been working to understand our world since 1834. Ranked as a Global top 130 University, our research and teaching are world leading. We have campuses in Newcastle, Singapore, and Malaysia. Our 29,000-strong student community is drawn from over 135 countries.

We've developed a global network of strategic industry partners and employers. Our collaborations are providing ideas and solutions of economic, social and cultural benefit. From unlocking the secrets of long-Covid, to advancing new treatments for cancer. We're also protecting our planet's future - from developing more sustainable technologies, to driving the UK's electric revolution. Across our strengths in ageing and health, data, cities and place, one planet, culture and creative arts, we're tackling global challenges.

**key academic areas of interest for partnerships in Japan**

Electrification and battery lifecycle; industry relations and skills development; ageing and health; AI; data; cities and place; culture and creative arts. Our centres of research excellence include:

- Centre for Cancer
- Centre for Data Science & AI
- Centre for Healthier Lives
- Centre for Rare Disease
- Centre for Ageing and Inequalities
- Centre for Landscape
- Centre for Biomedical Engineering
- Centre for Water
- Centre for Behaviour
- Centre for Mobility and Transport

**Websites:**<https://www.wongmld.com/><https://www.ncl.ac.uk/singapore/staff/profile/denniswong.html>

## デニス・ウォン

ニューカッスル大学

国際関係および

パートナーシップ担当マネージャー

[dennis.wong@ncl.ac.uk](mailto:dennis.wong@ncl.ac.uk)



研究集約型大学群のラッセル グループの創設メンバーとして、1834 年以来、本学は世界についてのよりよい理解に取り組んでいます。世界トップ 130 大学にランクインしている本学の研究と教育は世界をリードしており、ニューカッスル、シンガポール、マレーシアにキャンパスがあります。本学は135 か国以上からの29,000 名の学生を擁しています。

これまでに、戦略的な産業パートナーと企業で構成されるグローバルネットワークを構築しています。こうしたコラボレーションにより、経済的、社会的、文化的な利益をもたらすアイデアとソリューションを提供しており、これは、コロナウィルス後遺症の研究から、がんの新しい治療法の進歩まで多岐にわたります。私たちは、より持続可能な技術の開発から英国の電気革命の推進などにより、地球の未来も守っています。高齢化と健康、データ、都市と場所、地球、文化とクリエイティブアートにおける私たちの強みを活かして、地球規模の課題に取り組んでいます。

### 日本とのパートナーシップで求めている主な学術分野

電化とバッテリーのライフサイクル、業界関係とスキル開発、高齢化および医療、AI、データ、都市および地域、カルチャーおよびクリエイティブアート。本学には次のような卓越した研究センターを備えています。

- がん研究センター
- データサイエンス & 人工知能の研究センター
- 健康的な生活の研究センター
- 希少疾患の研究センター
- 高齢化と不平等の研究センター
- ランドスケープ研究センター
- バイオメディカル工学センター
- 水の研究センター
- 行動学研究センター
- モビリティと交通の研究センター

ウェブサイト:

<https://www.wongmld.com/>

<https://www.ncl.ac.uk/singapore/staff/profile/denniswong.html>

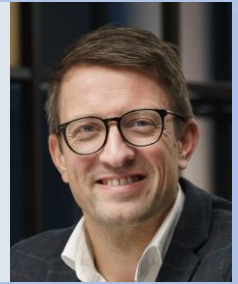
## Ben Middleton

University of Sunderland

Academic Dean of the Faculty of

Education, Society and Creative Industries

[ben.middleton@sunderland.ac.uk](mailto:ben.middleton@sunderland.ac.uk)



We are a global institution with over 27,000 students based in the UK, Hong Kong and at their global partnerships with learning institutions in 16 countries. We work with partners to deliver our degree and postgraduate courses worldwide, including Japan, Malaysia, Hong Kong, Oman, Singapore, Trinidad and Tobago, Kenya, Uzbekistan and Vietnam. We offer distance learning opportunities to study University of Sunderland courses and our PGCE teacher education programmes currently operate in over 65 countries whereby students have dedicated 1-1 support and access to our remote library services and e-resources. We have over 100 years' experience of training teachers in the UK and over 25 years of training teachers internationally, with over 1,500 students studying with us annually. Shortlisted for University of the Year in the Times Higher Education Awards 2024 and ranked amongst the world's best universities (Times Higher Education World University Rankings 2025).

### Key academic areas of interest for partnerships in Japan

Expand school-based teacher education in Japan through strategic partnerships with schools, policymakers and investors. With proven success in delivering PGCE Education, PGCE Early Years Teaching, and PGCE iQTS (International Qualified Teacher Status) globally, we are uniquely positioned to support Japan's evolving education needs. Our teacher training programmes offer a scalable solution to the global teacher shortage, particularly relevant as Japan faces recruitment and retention challenges.

Our model enables in-school training, tailored support, and remote academic delivery. We believe Japan can benefit from this flexible model to equip future educators with high-quality credentials recognised internationally. The PGCE iQTS at the University of Sunderland is an internationally recognised course that leads to Qualified Teacher Status.

**Website:** <https://www.sunderland.ac.uk/study/international/>

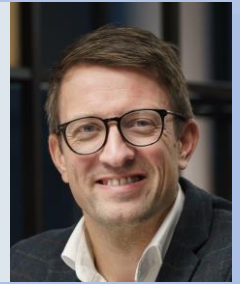
## ベン・ミドルトン

サンダーランド大学

教育、社会、クリエイティブ産業

学部長

[ben.middleton@sunderland.ac.uk](mailto:ben.middleton@sunderland.ac.uk)



本学は、英国、香港、そして世界 16 か国の教育機関とのグローバルパートナーシップを重視しており、27,000 人を超える学生を擁するグローバルな教育機関です。パートナーと協力し、日本、マレーシア、香港、オマーン、シンガポール、トリニダード・トバゴ、ケニア、ウズベキスタン、ベトナムなど世界のどこでも学べる学位および大学院コースを提供しています。サンダーランド大学のコースを遠隔で学ぶことができるようにしており、PGCE 教員教育プログラムは現在 65 か国以上で運営されており、学生は1 対 1 のサポートを受けられるほか、本学の遠隔図書館サービスや電子リソースにアクセスできます。サンダーランド大学は英国内で100年以上、国際的においては25年以上教師を養成してきた経験があり、毎年1,500人以上の学生が本学で学んでいます。2024年度タイムズ・ハイヤー・エデュケーションアワードの年間最優秀大学に最終候補として選ばれ、2025年度タイムズ・ハイヤー・エデュケーションの世界大学ランキングで世界最優秀の大学にランクインしました。

### 日本とのパートナーシップで求めている主な学術分野

学校、政策立案者、投資家との戦略的パートナーシップを通じて、日本における学校で研修を行う教員教育を拡大します。本学は、PGCE 教育、PGCE 幼児教育、PGCE iQTS (国際教員資格) を世界中で提供してきた実績があり、進化する日本の教育ニーズをサポートできる意味で他大学と一線を画しています。サンダーランド大学の教師研修プログラムは、世界的な教師不足に対する拡張可能な解決策を提供します。とりわけ日本では採用と雇用維持の課題に直面していることから、これが重要になると思われます。

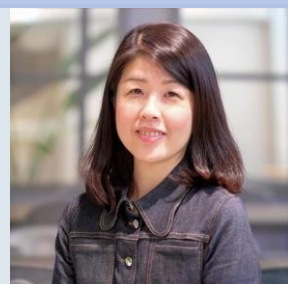
本学のモデルによって、学校内研修、カスタマイズされたサポート、遠隔教育が実現できます。日本の教育業界がこうした柔軟な教育モデルから恩恵を受けられること、また将来の教育者に国際的に認められた質の高い資格を与えることができることを確信しています。サンダーランド大学の PGCE iQTS は、教員資格を取得できる国際的に認められたコースです。

Webサイト: <https://www.sunderland.ac.uk/study/international/>

**Ayako Towatari**

Cambridge University Press & Assessment  
Country Manager

[ayako.towatari@cambridge.org](mailto:ayako.towatari@cambridge.org)



We are the International Education group at Cambridge University Press & Assessment, an organisation that provides world-leading academic research, learning and assessment globally. As part of the University of Cambridge, we offer a globally trusted and flexible frameworks for education from age 3 to 19, informed by research, experience, and listening to educators. We work with over 10,000 schools in 160 countries worldwide to build an education that shapes knowledge, understanding and skills. Our international qualifications are recognised by the world's best universities, giving students a wide range of options in their education and career.

**Key academic areas of interest for partnerships in Japan**

We seek to establish new partnerships with prefectural boards of education, local private school associations, primary and secondary schools, international schools, and universities across Japan.

**Website:** <https://www.cambridgeinternational.org/>

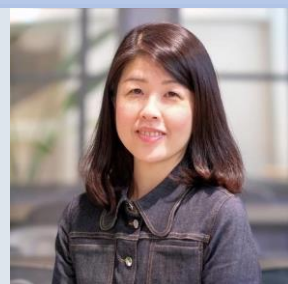


## アヤコ・トワタリ

ケンブリッジ大学出版局 & 評価部門

国別マネージャー

[ayako.towatari@cambridge.org](mailto:ayako.towatari@cambridge.org)

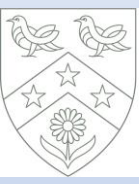


私たちはケンブリッジ大学出版局 & 評価部門の国際教育グループです。世界をリードする学術研究、学習、評価を世界中で提供する組織です。ケンブリッジ大学の一組織として、私たちは研究、経験、教育者の意見に裏打ちされた、3 歳から 19 歳までの教育のための、世界的に定評のある柔軟なフレームワークを提供しています。そして世界 160 か国の 10,000 校以上の学校と連携し、知識、理解、スキルを育む教育を構築しています。当組織の国際資格は世界トップクラスの大学で認められており、学生に教育とキャリアの幅広い選択肢を提供することができます。

### 日本とのパートナーシップで求めている主な学術分野

当組織は、日本全国の都道府県教育委員会、地元の私立学校協会、小中学校、インターナショナルスクール、大学との新たなパートナーシップの構築を模索しております。

Webサイト: <https://www.cambridgeinternational.org/>



## **Richard Houchin**

Cheltenham Ladies' College (CLC)

Director of Admissions

[HouchinR@cheltladiescollege.org](mailto:HouchinR@cheltladiescollege.org)



At Cheltenham Ladies' College, we have educated and inspired generations of young women from around the world for over 170 years.

Educating 850 pupils at our campus in England, we firmly believe education for girls should embody excellence, independence, inspiration and empowerment. At CLC, academic achievement is complemented by rich extra-curricular experiences, personal development and a strong sense of community.

We encourage each student to discover her voice, pursue her passions and find her own path. Our aim is that every girl graduates as a self-determining, resilient and fulfilled woman, ready to contribute to and enrich her communities.

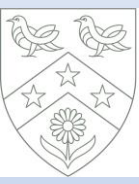
### **Key academic areas of interest for partnerships in Japan**

We look forward to building new opportunities for collaboration with partners in Japan, inspired by CLC's second Principal, Dorothea Beale, and Utako Shimoda, founder of Jissen Women's University, whose shared educational values first connected our countries in the late 19th century.

Cheltenham Ladies' College is currently seeking:

- Like-minded partners to explore opportunities to bring CLC's unique educational offer to Japan.
- Schools to join our well-established cultural and English language summer programme in Cheltenham. This is currently attended by girls from five Japanese High Schools, and we have capacity to expand this programme to welcome additional schools.

**Website:** <https://www.cheltladiescollege.org/>



## リチャード・ハウチン

チェルトナム・レディース・カレッジ (CLC)

入学担当ダイレクター

[HouchinR@cheltladiescollege.org](mailto:HouchinR@cheltladiescollege.org)



チェルトナム・レディース・カレッジでは、170 年以上にわたり、世界中の何世代にもわたる若い女性たちを教育し、インスピレーションを与えてきました。

本校はイギリスのキャンパスで 850 名の生徒の教育に携わっており、女子教育は卓越性、自立、インスピレーション、エンパワーメントを体現するものであるべきだという信念を掲げています。本校で学ぶ生徒たちが学んでいるのは、学業だけでなく、豊富な課外活動の経験、人間的成長、コミュニティにおける強い絆などがあります。

本校では生徒一人ひとりが真にやりたいことを見つけ、情熱を追求し、自分の道を切り開いていくことを奨励しています。すべての女子生徒が自立心と回復力を身に付け、充実した女性として卒業し、地域社会に貢献して豊かにしていくことを目標としています。

### 日本とのパートナーシップで求めている主な学術分野

私たちは、2代目校長であるドロテア・ビールと、19世紀後半に初めて日英両国の架け橋となった、共通の教育的価値観を掲げる実践女子大学の創設者である下田歌子氏のよう  
に、日本のパートナーとの新たなコラボレーションを構築できることを願っています。

チェルトナム・レディース・カレッジでは現在、以下のようなパートナーを求めています。

- 本校のユニークな教育サービスを日本に紹介したいと考える、本校の趣旨に賛同し  
てくださるパートナー。
- チェルトナムにおいて、定評のある文化と英語のサマープログラムに参加してくださる  
学校。現在、本プログラムには日本の 5 つの高校の女子生徒を受け入れています  
が、今後さらなる学校をこのプログラムに受け入れることも可能です。

Webサイト: <https://www.cheltladiescollege.org/>



**Tim Hipperson**

Oundle School

Academic Director – International

[tph@oundleschool.org.uk](mailto:tph@oundleschool.org.uk)



Oundle School is a leading, co-educational, independent boarding and day school providing an education of the highest quality to 1150 pupils. The School is known for specialism in STEM and its Patrick Engineering Centre includes a metal 3D printer, CNC milling machines and a Scanning Electron Microscope.

**Key academic areas of interest for partnerships in Japan**

Establishing British international schools including primary and secondary phases.

**Website:** <https://www.oundleschool.org.uk/>

**ティム・ヒップパーソン**  
オウンドルスクール  
国際担当学術ダイレクター  
[tph@oundleschool.org.uk](mailto:tph@oundleschool.org.uk)



オウンドル スクールは、1,150 人の生徒に最高品質の教育を提供する、一流の男女共学の私立寄宿学校および通学校です。本校はSTEM(科学教育)に力を入れていることで知られており、パトリックエンジニアリングセンターには金属3Dプリンター、CNCフライス盤、走査型電子顕微鏡を備えています。

**日本とのパートナーシップで求めている主な学術分野**

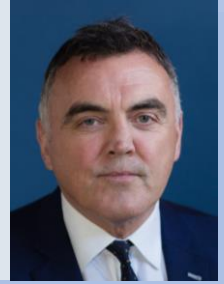
初等・中等教育を含む英国インターナショナルスクールの設立

**Webサイト:** <https://www.oundleschool.org.uk/>

**Sean Davey**

Reigate Grammar School International

Global Business Director

[sean\\_rgsi@reigategrammar.org](mailto:sean_rgsi@reigategrammar.org)

Reigate Grammar School is currently celebrating its 350 anniversary since its foundation in 1675. It is the alma mater of the current UK Prime Minister, Sir Kier Starmer, and awarded UK Independent School of the Year 2025 by the Sunday Times. Reigate Grammar School is fully co-educational and K-12, with on average 97% of students going on to top universities. Academically, Reigate Grammar is in the top 15 of all independent schools and in the top three of all UK co-educational schools. The Reigate group in the UK has four feeder prep schools and also a RGS Surrey Hills campus for boarding. Reigate Grammar School International (RGSi) works very closely with the DBT and has been very successful in establishing a global village of branch schools in various territories with this support. Locations such as KSA, UAE, Vietnam, and most recently Malaysia and Cambodia (opening this summer). RGSi is very flexible and very 'hands on' with its support and collaboration with overseas partners. A proven track record with the DBT, we are keen to explore Japan and work once more with the DBT.

**Key academic areas of interest for partnerships in Japan**

We are keen to explore K-12 partnerships; establishing branch schools; UK based residential courses and exchange opportunities.

**Website:** <https://www.reigategrammar.org/>



## ショーン・デイビー

ライゲート・グラマー・スクール・インターナショナル  
グローバルビジネスディレクター

[sean\\_rgsi@reigategrammar.org](mailto:sean_rgsi@reigategrammar.org)



ライゲート グラマー スクールは、1675 年の創立から350 周年を迎えました。この学校は、現英国首相サー・キア・スターマーの母校であり、サンデー・タイムズ紙から2025年度の英国インディペンデント・スクール・オブ・ザ・イヤーを受賞しました。ライゲート グラマー スクールは完全な男女共学で、幼稚園から高校までの生徒の教育にあたっており、平均して生徒の 97% がトップクラスの大学に進学します。学業面では、本校はすべての私立学校の中でトップ 15 に、またすべての英国の共学学校の中でトップ 3 にランクインしています。英国のライゲート グループには、4 つの付属プレップ スクールと、寄宿学校である RGS サリー ヒルズ キャンパスがあります。ライゲート グラマー スクール インターナショナル (RGSi) はビジネス通商省と非常に緊密に連携しており、このサポートにより、さまざまな国にわたる分校のグローバルネットワークを確立してきました。サウジアラビア、アラブ首長国連邦、ベトナム、そして最近ではマレーシアとカンボジア（今夏オープン）などに分校をオープンさせています。また、本校は、海外のパートナーとのサポートや連携に非常に柔軟かつ積極的に取り組んでいます。ビジネス通商省との長年の実績を持つ本校は、再度のサポートを受けて、今後は日本におけるパートナー日本とのパートナーシップで求めている主な学術分野

K-12 パートナーシップ、分校の設立、英国を拠点とする全寮制コースや交換留学の機会を探りたいと考えております。

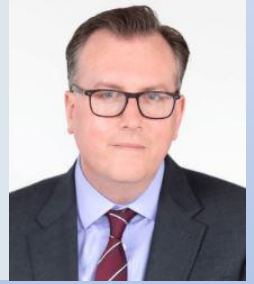
Webサイト: <https://www.reigategrammar.org/>

**Daniel Lewis**

Repton Family of Schools

Managing Director

[dlewis@repton.org.uk](mailto:dlewis@repton.org.uk)



As one of England's great public schools, Repton has a proud and rich history. Now with a global family of eleven schools, Repton educates over 10,000 students across the UK, UAE, Egypt and China.

**Key academic areas of interest for partnerships in Japan**

School partnerships - for the establishment of Repton 'branch' schools.

**Website:** <https://www.reptonschool.org.uk/>

## ダニエル・ルイス

レプトン・ファミリー・オブ・スクールズ  
マネージングダイレクター

[dlewis@repton.org.uk](mailto:dlewis@repton.org.uk)



イングランドの偉大なパブリックスクールの一つであるレプトンは、学校としての非常に長い歴史に誇りを持っています。現在、世界各地に 11 校を展開するレプトンは、英国、アラブ首長国連邦、エジプト、中国で 10,000 人を超える生徒を教育しています。

### 日本とのパートナーシップで求めている主な学術分野

学校とのパートナーシップ - レプトン「分校」を設立したいと考えております。

Webサイト: <https://www.reptonschool.org.uk/>

**Abbie Watts**

Wellington College International

Business Development Manager

[akpw@wellingtoncollegeinternational.com](mailto:akpw@wellingtoncollegeinternational.com)



Wellington College International (founded 2009) shares the purpose of Wellington College to pioneer in education to serve and help shape a better world. For WCI this means maximising educational opportunities for young people around the world, and building greater cultural dialogue, respect and understanding, both within our schools and far beyond. Currently we have schools in China, Thailand and India, across which we share best practice in teaching, assessment and internationalisation.

**Key academic areas of interest for partnerships in Japan**

Building strategic partnerships with Japanese education institutions in order to open a super-premium K-12 international school, which would aspire to become the very best in region.

**Website:** <https://wellingtoncollegeinternational.com/>

## アビー・ワッツ

ウェリントン・カレッジ・インターナショナル  
ビジネス開発マネージャー

[akpw@wellingtoncollegeinternational.com](mailto:akpw@wellingtoncollegeinternational.com)



ウェリントン カレッジ インターナショナル (2009 年創立) は、ウェリントン カレッジの教育目的を共有しており、より良い世界の構築に貢献するため、教育業界において一歩先を行く存在となることを目指しています。つまり、世界中の若者の教育機会を最大限に高め、学校内外で文化的な対話、敬意、理解を深化させていくことを意味します。現在、当社は中国、タイ、インドに学校を設立しており、こうした地域において教育、評価、国際化におけるベストプラクティスを共有しています。

### 日本とのパートナーシップで求めている主な学術分野

地域最高峰を目指す最も優れたK-12インターナショナルスクールを開校するために、日本の教育機関と戦略的パートナーシップを構築したいと考えております。

Webサイト: <https://wellingtoncollegeinternational.com/>



**Leigh McIntyre**

Bayswater Education  
Regional Director, Asia  
[Leigh@bayswater.ac](mailto:Leigh@bayswater.ac)



Bayswater education have 11 English language and professional skills colleges globally including five in the UK. Bayswater also have an exclusive luxury hospitality programme targeted towards students travelling on the YMS visa to the UK and we have helped hundreds of students from Korea, Japan and Taiwan prepare for their career experiences in the UK. Bayswater offer programmes for both long and short term study for both juniors and adults.

**Key academic areas of interest for partnerships in Japan**

University study abroad/ semester/ groups, work placement and career preparation, English language, professional micro credentials in business and marketing subjects.

**Website:** <https://www.bayswater.ac/en/>

**リー・マッキンタイア**  
ベイズウォーター・エデュケーション  
アジア地域ディレクター  
[Leigh@bayswater.ac](mailto:Leigh@bayswater.ac)



ベイズウォーター・エデュケーションは、英国内の 5 校を含む、世界中における 11 校の英語および専門スキル カレッジを運営しています。本校では、YMSビザで英国に渡航する学生を対象とした、特別な最上級ホスピタリティプログラムも提供しており、韓国、日本、台湾からの何百人もの学生に対して、英国での職業体験のための準備を支援してきました。本校では、ジュニアと大人の両方を対象に、長期と短期の学習プログラムを提供しています。

### 日本とのパートナーシップで求めている主な学術分野

大学留学/学期/グループ留学、職場実習およびキャリア準備、英語、ビジネスおよびマーケティング分野の専門マイクロ資格。

Webサイト: <https://www.bayswater.ac/en/>

## Muhammad Tariq

Learning Resource Network

CEO

[zohaib@lrnglobal.org](mailto:zohaib@lrnglobal.org)



Learning Resource Network (LRN) is a UK-based awarding organisation offering internationally recognised qualifications in English language, teacher training, and vocational education. With a presence in over 50 countries, LRN works with schools, colleges, universities, and training providers to support learners' progression into higher education and employment. Our qualifications are designed to meet global standards and are regulated by Ofqual. LRN is committed to innovation in assessment, quality assurance, and promoting British educational excellence worldwide through strategic partnerships and capacity-building initiatives.

### Key academic areas of interest for partnerships in Japan

Learning Resource Network (LRN) is particularly interested in partnerships in the following academic areas:

- English language education and assessment
- Teacher training and professional development
- Vocational education and skills development
- International qualifications recognition
- Curriculum development and quality assurance

We are keen to collaborate with Japanese institutions on joint programme delivery, capacity-building projects, and sharing best practices in assessment and internationalisation.

**Website:** [www.lrnsschools.org](http://www.lrnsschools.org) and [www.lrnglobal.org](http://www.lrnglobal.org)

## ムハンマド・タリク

ラーニングリソースネットワーク

最高経営責任者 (CEO)

[zohaib@lrnglobal.org](mailto:zohaib@lrnglobal.org)



ラーニングリソースネットワーク (LRN) は、英国を拠点とする認定機関であり、英語、教師トレーニング、職業教育の分野で国際的に認められた資格を提供しています。50 か国以上に拠点を置き、学校、大学、研修事業者と協力して、学習者の高等教育進学および就職をサポートしています。当社の資格は世界基準を満たすように設計されており、Ofqualによって規制されています。また、戦略的パートナーシップと能力構築イニシアチブを通じて、評価、品質保証、および英国の教育の卓越性の世界的な促進における革新に取り組んでいます。

### 日本とのパートナーシップで求めている主な学術分野

ラーニングリソースネットワーク (LRN) は、特に次の学術分野でのパートナーシップを求めています。

- 英語教育と評価
- 教員研修と専門能力開発
- 職業教育とスキル開発
- 国際資格認定
- カリキュラム開発と品質保証

共同プログラムの提供、能力開発プロジェクト、評価と国際化におけるベストプラクティスの共有において日本の機関と協力させていただきたいと考えております。

**Webサイト:** [www.lrnsschools.org](http://www.lrnsschools.org) および [www.lrnglobal.org](http://www.lrnglobal.org)

**Dr Ikuya Aizawa**

Oxford EMI Ltd

Researcher and Oxford EMI Associate

ikuya.aizawa@oxfordemi.co.uk



Professional development courses in English Medium Instruction for University Lecturers around the world.

**Key academic areas of interest for partnerships in Japan**

- English Medium Instruction
- Professional Development of High School teachers
- Professional Development of University Lecturers
- Internationalisation of Universities

**Website:** <https://oxfordemi.co.uk/>

## Dr. イクヤ・アイザワ

オックスフォードEMI株式会社

研究者、オックスフォードEMIアソシエイト

ikuya.aizawa@oxfordemi.co.uk



世界中の大学講師のための英語による専門能力開発コース。

### 日本とのパートナーシップで求めている主な学術分野

- 英語中等教育
- 高等学校教師の専門能力開発
- 大学講師の専門能力開発
- 大学の国際化

Webサイト: <https://oxfordemi.co.uk/>



## Richard Leach

Regional Lead – APAC and the Americas

Department for Business and Trade

[Richard.Leach@businessandtrade.gov.uk](mailto:Richard.Leach@businessandtrade.gov.uk)



Richard joined the Ministry of Defence in 1987 with a degree in Physics from the University of Manchester. He has held various roles in defence operations, policy, and planning within the MoD headquarters, including two years as a scientist defining the UK's underwater weapons capability requirements. In 2008, he joined UK Trade & Investment's Defence and Security Organisation as Assistant Director for South and Central America and the Caribbean. Since 2013, he has worked for UK Trade and Investment's Healthcare UK as geographical head of South America, Southeast Asia, and Military Medicine before transferring to the Department of Business and Trade's Education team.

The Education Team at DBT promotes partnerships between foreign governments and organisations working in education and their British counterparts in five key areas: Vocational Education and Training, K12 Schools, Higher Education, educational technology supply, and English language training. The team represents DBT in the UK's International Education Strategy.



## リチャード・リーチ

アジア太平洋地域およびアメリカ大陸地域リーダー  
ビジネス通商省

[Richard.Leach@businessandtrade.gov.uk](mailto:Richard.Leach@businessandtrade.gov.uk)



リチャード・リーチはマンチェスター大学で物理学の学位を取得し、1987年に国防省に入省しました。国防省本部内で防衛作戦、政策、計画の分野でさまざまな役職を歴任しており、そのなかで2年間ほどは英国の水中兵器能力要件の定義に科学者として携わっています。2008年に英国トレード&インベストメントに加わり、防衛安全保障部門で南米、中米、カリブ海地域担当のアシスタントダイレクターを務めました。2013年以降は、英国貿易投資総省のヘルスケア UK で南米、東南アジア、軍事医学の地域責任者を務めた後、ビジネス通商省の教育チームを担当しています。

ビジネス通商省の教育担当チームは、職業教育と訓練、K12 学校、高等教育、教育工学の提供、英語研修の5つの主要分野で、外国の教育関連の政府機関および組織と英国の教育機関とのパートナーシップを推進しています。このチームは英国の国際教育戦略においてビジネス通商省を代表するものとなっています。





## Mike Qureshi

Senior Programme Manager

Department for Business and Trade

[Mike.Qureshi@businessandtrade.gov.uk](mailto:Mike.Qureshi@businessandtrade.gov.uk)



Mike started with DBT's Education Sector Team in London in 2018, and works with colleagues across UK Government, including Professor Sir Steve Smith, the UK Government's International Education Champion, and overseas ministries and interlocutors, to scope and promote cross-education opportunities for UK providers, and provide platforms for them to engage with potential overseas partners.

Mike's core Geographic remit covers Asia Pacific and the Americas, and, he also oversees the UK DBT pavilion at BETT Asia, BETT UK, and our participation at the Education World Forum. He is excited to be visiting Japan for the first time

Prior to this, Mike worked on inward investment from the US, and the Energy Sector Team.



## マイク・クレシ

シニアプログラムマネージャー

ビジネス通商省

[Mike.Qureshi@businessandtrade.gov.uk](mailto:Mike.Qureshi@businessandtrade.gov.uk)



マイクは2018年にロンドンのビジネス通商省教育部門チームに加わり、英国政府の国際教育推進者であるスティーブ・スミス教授をはじめとする英国政府内の同僚や海外の省庁、仲介者と協力して、英国の教育機関の異分野教育機会を調査して推進し、海外の潜在的なパートナーと協働するための柱を提供しています。

マイクの主な担当地域はアジア太平洋地域と南北アメリカ大陸であり、また、BETT Asia および BETT UK の 英国ビジネス通商省のパビリオン、および Education World Forum への参加について指揮を執っています。彼は今回が初来日となり、大変楽しみにしております。

これ以前には、米国からの対内投資およびエネルギー部門チームの勤務経験があります。



## Husna Hashim

Head of Education (Trade) - Asia Pacific Region

Department for Business and Trade Malaysia

[Husna.Hashim@fcdo.gov.uk](mailto:Husna.Hashim@fcdo.gov.uk)



Husna leads the Asia Pacific High value campaign work for the Department for Business and Trade which involves developing and delivering campaigns to promote UK business interests. Husna works with UK Education companies to help grow their international revenue across Malaysia and the wider region.

Prior to this, Husna was a Programmes and Partnerships Manager at the British Council, and has successfully delivered many regional programmes nationwide including the International Inspiration, the first ever international legacy initiative ever linked to the 2012 London Olympic and Paralympics Games.

Husna was also responsible for the implementation of the National Education Technology project under the Ministry of Education Malaysia

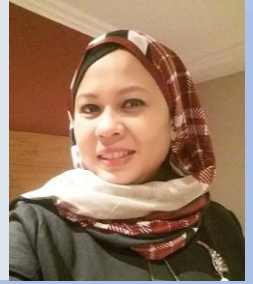
Husna holds an MEd specialising in Curriculum and Instructions.



## フスナ・ハシム

アジア太平洋地域 教育部門長(貿易担当)  
ビジネス通商省

[Husna.Hashim@fcdo.gov.uk](mailto:Husna.Hashim@fcdo.gov.uk)



ハシムは、英国ビジネス通商省のアジア太平洋高価値キャンペーン業務を指揮しており、英国のビジネス利益を促進するキャンペーンの開発と展開に携わっています。また、英国の教育関連企業と連携し、マレーシアおよび地域全体での国際収益の拡大を支援しています。

これ以前にはブリティッシュ・カウンシルのプログラムおよびパートナーシップ・マネージャーを務め、2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会に関連した初の国際レガシー・イニシアチブである「インターナショナル・インスピレーション」を含む、全国規模の数多くの地域プログラムを成功させた実績があります。

マレーシア教育省の国家教育技術プロジェクトの展開にも携わっています。

ハシムはカリキュラムと指導を専門とする教育学修士号を取得しています。



## Sumiko Koga

Japan Exports Performance Lead and Market Advisor (Trade)  
Department for Business and Trade (Japan)

[Sumiko.Koga@fcdo.gov.uk](mailto:Sumiko.Koga@fcdo.gov.uk)



Sumiko is a Market Advisor in the Japan Exports Performance Team based at British Embassy Tokyo. She is part of Export Support Service (ESS), which forms part of Department for Business and Trade's international support network, helping UK SMEs to do business in international markets. Sumiko supports UK SMEs across a wide range of sectors, including education in Japan.

Sumiko previously worked for the Executive MBA Programme at the Japan campus of an American university, where she was responsible for student recruitment, marketing, and programme coordination. She also brings extensive professional experience in project and event management from the private sector, spanning a wide range of industries.

Sumiko holds a BA in International Politics and Economics.



## 古閑澄子

日本輸出パフォーマンス兼市場アドバイザー（貿易）  
駐日英国大使館ビジネス・通商部

[Sumiko.Koga@fcdo.gov.uk](mailto:Sumiko.Koga@fcdo.gov.uk)



古閑澄子は、英国大使館に勤務する日本輸出パフォーマンスリーダー兼市場アドバイザーです。駐日英国大使館ビジネス・通商部の国際支援ネットワークの一部である輸出支援サービス (ESS) 部の一員であり、英国の中小企業が国際市場でビジネスを行うのを支援しています。また、日本の教育を含む幅広い分野で英国の中小企業をサポートしています。

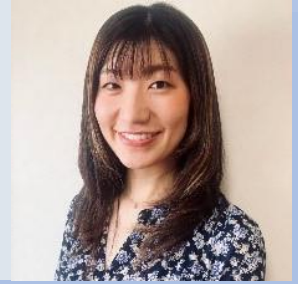
これまでに、アメリカの大学の日本キャンパスのエグゼクティブMBAプログラムでの勤務経験があり、学生募集、マーケティング、プログラム調整を担当していました。これに加え、幅広い業界にわたる民間部門でのプロジェクトおよびイベント管理の豊富な専門経験があり、

国際政治経済学の学士号を取得しています。

**Akie Koyama**

Head of Education

British Council Japan

[Akie.Koyama@britishcouncil.or.jp](mailto:Akie.Koyama@britishcouncil.or.jp)

Akie has dedicated more than 10 years of her life to advancing educational opportunities for others. In her current role, she is responsible for developing the British Council Japan's education strategy and overseeing the planning and delivery of all its education programmes.

Prior to this, Akie served as Managing Director of Japan's two largest study abroad agencies specialising in promoting UK higher education institutions.

She is deeply committed to supporting cross-border collaboration in education and research and believes that greater exchange of knowledge and ideas through mobility will help secure a sustainable and prosperous future not only for the UK and Japan, but for the entire world.

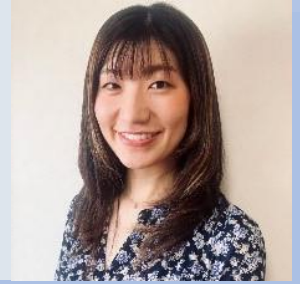
Akie holds an MPhil in Educational Research.

## アキエ・コヤマ

教育部長

ブリティッシュ・カウンシル・ジャパン

[Akie.Koyama@britishcouncil.or.jp](mailto:Akie.Koyama@britishcouncil.or.jp)



アキエは10年以上にわたり、他の人々の教育機会の向上に人生を捧げてきました。現在、彼女は日本のブリティッシュ・カウンシルの教育戦略の策定と、すべての教育プログラムの企画および実施の監督を担当しています。

これに先立ち、アキエ氏は英国の高等教育機関のプロモーションを専門とする日本最大の留学代理店2社のマネージングディレクターを務めていました。

彼女は教育と研究における国境を越えた協力を支援することに深く尽力しており、モビリティを通じて知識とアイデアをより多く交換することが、英国と日本だけでなく、世界全体にとって持続可能で繁栄した未来を確保することにつながると信じています。

アキエ氏は教育研究の研究修士を取得しています。





## **Bethan Dinning**

Head of China and Asia Pacific

Department for Education

[Bethan.Dinning@education.gov.uk](mailto:Bethan.Dinning@education.gov.uk)



Bethan leads the Department for Education's engagement across the Asia-Pacific region. Her role includes coordinating ministerial and senior official visits, bilateral engagement and delivering strategic partnerships that advance UK education and foreign policy objectives. This work contributes to the delivery of the UK International Education Strategy, involving engagement through multilateral fora, policy exchange and the international sharing of UK education expertise.

Since joining the Department for Education in 2019, Bethan has worked across a broad range of international policy areas. Prior to this, she spent five years at the British Council, managing international education programmes, including Language Assistants and Erasmus+. She also has experience in the English language sector, including as Centre Director of a residential English Language School.

Bethan holds a BA in International Relations.



## ベサン・ディニング

中国・アジア太平洋地域責任者  
教育省

[Bethan.Dinning@education.gov.uk](mailto:Bethan.Dinning@education.gov.uk)



ベサンはアジア太平洋地域における教育省の活動を指揮しています。これには、大臣や高官の訪問、二国間関係の調整、英国の教育と外交政策の目標を推進する戦略的パートナーシップの提供などが含まれます。この取り組みは、多国間フォーラム、政策交換、英国の教育専門知識の国際的共有を通じた関与を含む、英国の国際教育戦略の実現に貢献しています。

ベサンは2019年の教育省への入省以来、幅広い国際政策分野での活動経験があります。これ以前は、ブリティッシュ・カウンシルで5年間勤務しており、語学アシスタントやErasmus+などの国際教育プログラムのマネジメントに関わっていました。また、全寮制英語学校のセンターダイレクターとしての経験を含む、英語教育分野での経験もあり、

国際関係学の学士号を取得しています。



## Colin Bell

CEO

The Council of British International Schools (COBIS)

[colin.bell@cobis.org.uk](mailto:colin.bell@cobis.org.uk)



The Council of British International Schools (COBIS) is the premier global association for high-quality British international schools and education providers. Representing over 330 member schools in 86 countries and impacting more than 200,000 students and 16,000 teachers, COBIS is a trusted voice in international education.

COBIS' mission is to support and empower British international schools in their delivery of high-quality education. Guided by a vision to connect and develop school communities that prepare students to make a positive impact on society. For over 40 years, COBIS has supported schools in delivering outstanding British-style education through robust accreditation, professional development, and advocacy. Its accreditation and compliance scheme, validated by the UK's Quality Assurance Agency (QAA), provides schools with a recognised kitemark of excellence, critical for gaining the confidence of parents, staff, and stakeholders.

COBIS connects its diverse network through tailored CPD, safeguarding training, international student events, and leadership development programmes. As a key partner to the UK Department for Education and Department for Business and Trade, COBIS is influential in shaping global educational policy and standards.

For markets like Japan where interest in quality English-medium education is growing, COBIS offers a gateway to best-in-class British schools and educational expertise. COBIS is formally recognised by Japan's Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT) as an accrediting body for international schools operating in the country, making it a vital partner for future UK-Japan education sector collaboration.

Website: [www.cobis.org.uk](http://www.cobis.org.uk)



## コリン・ベル

最高経営責任者 (CEO)

英国国際学校協議会 (COBIS)

[colin.bell@cobis.org.uk](mailto:colin.bell@cobis.org.uk)



英国インターナショナルスクール協議会 (COBIS) は、質の高い英国のインターナショナルスクールおよび教育機関を代表する世界有数の組織です。86 か国 330 校以上の加盟校を代表しており、200,000 人以上の生徒と 16,000 人以上の教師に影響のある存在です。本組織は国際教育において実績のある代弁者となっています。

COBIS の使命は、英国のインターナショナル スクールが質の高い教育を提供するための支援および奨励を行うことです。当組織のビジョンは、生徒に対して社会に役に立つ人間になるための教育を行っている加盟校同士のつながりとコミュニティ意識を高めることです。COBIS は 40 年以上にわたり、影響力の高い認定制度、専門能力開発、意見提起を通じて、加盟校が優れた英国式の教育を提供できるよう支援してきました。英国の品質保証機関 (QAA) によって検証された認定およびコンプライアンス スキームにより、加盟校は保護者、スタッフ、利害関係者の信頼を得るために重要な、実績のある優秀認定マークを取得できます。

COBIS は、カスタマイズ可能な CPD、生徒の安全保護のためのトレーニング、国際的な学生イベント、リーダーシップ開発プログラムを通じて、多様性に富んだネットワークを育んでいます。COBIS は英国教育省および英国ビジネス通商省の主要パートナーとして、世界的な教育政策と基準の形成に影響のある存在です。

質の高い英語による教育への関心が高まっている日本などの市場にとって、COBIS は最高クラスの英国の学校と教育の専門知識への足掛かりを提供します。COBIS は、日本国内で運営されているインターナショナルスクールの認定機関として文部科学省 (MEXT) に正式に認定されており、英国と日本の教育分野の将来的な協力にとって重要なパートナーとなります。

ウェブサイト: [www.cobis.org.uk](http://www.cobis.org.uk)

## NOTES:

# 「NOTES」



## Department for Business and Trade

The UK's Department for Business and Trade is an economic growth department. We ensure fair, competitive markets at home, secure access to new markets abroad and support businesses to invest, export and grow. Our priorities are the Industrial Strategy, Make Work Pay, the Trade Strategy and the Plan for Small Business.

## Legal disclaimer

Whereas every effort has been made to ensure that the information in this document is accurate, the Department for Business and Trade does not accept liability for any errors, omissions or misleading statements, and no warranty is given or responsibility accepted as to the standing of any individual, firm, company or other organisation mentioned.

© Crown copyright 2025

You may re-use this publication (not including logos) free of charge in any format or medium, under the terms of the Open Government Licence.

To view this licence, visit [nationalarchives.gov.uk/doc/open-government-licence/version/3](https://nationalarchives.gov.uk/doc/open-government-licence/version/3)

Where we have identified any third-party copyright information in the material that you wish to use, you will need to obtain permission from the copyright holder(s) concerned.

Published by

Department for Business and Trade

18 April 2025



## ビジネス通商省

英国のビジネス通商省は経済成長を担当する省庁です。国内で公正かつ競争的な市場を確保するとともに、海外の新たな市場へのアクセスを実現することによって、企業の投資、輸出、成長を支援します。本省の優先事項は、産業戦略、労働による利益の創出、貿易戦略、中小企業計画です。

## 法的免責事項

英国ビジネス通商省は本文書の情報の正確性を確保するために細心の注意を払っていますが、誤り、省略、または誤解を招きかねない記述について一切の責任を負いません。また、言及されている個人、企業、会社、またはその他の組織の立場に関していかなる保証も行わず、責任を負いません。

© Crown 著作権 2025

本出版物(ロゴを除く)は、オープン ガバメント ライセンスの条件に従い、あらゆる形式や媒体で無料で再利用できます。

このライセンスについての詳細は、[nationalarchives.gov.uk/doc/open-government-licence/version/3](https://nationalarchives.gov.uk/doc/open-government-licence/version/3) をご覧ください

ご利用になりたい資料に第三者の著作権情報が含まれていることが判明している場合には、当該著作権保有者から許可を得る必要があります。

## 発行者

ビジネス通商省

2025年4月18日